

平成17年3月1日

「ロータリーの友」地区だより：「3月号」報告

いよいよロータリー誕生101年目の最初の月を迎えました。
今月号には、中島ガバナーが、「第4回ガバナー座談会」に登場されました。
また、ステンハマー会長エレクトのインタビュー記事も載っています。
いずれも是非お目通し頂き、例会等でご紹介下さるようお願い申し上げます。

1. 是非ご一読頂きたい記事

「ヨコ組み」

8ページ 「ローターアクトを知ろう」

3月7から13日は、世界ローターアクト週間です。各地区の代表的な青年達が、活動を通じて何を得たか記述しています。

13ページ 「奉仕の1世紀」 ロータリー米山記念奨学会のはじまり

米山奨学金が、東京RCでクラブ活動として発足し、その尽力を経て日本中に広まっていくプロセスが書かれています。

17ページ ロータリー100周年切手でロータリーを祝おう

日本ロータリー財団の尽力で、大変な狭き門をパスし、100周年記念切手が発行されることになりました。ポリオ撲滅運動など奉仕活動広報の絶好のチャンスです。100枚単位の購入キャンペーンが間もなく開始されるようです。

19ページ 超我の奉仕：「RI会長エレクト：ステンハマー氏に聞く」

会長エレクトは、2005～2006年RI年次テーマを必要とせず、私たちのモットー「超我の奉仕」を掲げるようです。強調点としては、「識字および教育」「水保全・保健・飢餓追放」「公共イメージ」の三つを挙げておられます。

26ページ ガバナー座談会「青少年と日本のロータリー」

中島ガバナーが、今月のガバナー座談会に参画されました。
「昔、父親の背中から学んだ価値観や規範が、今の親の背中からは伝わってこない。ゼロ歳からの思い切った教育改善が必要。

しっかりした子供を育てるため、ロータリーは地域の中で何が出来るか考えねばならない」と論じておられます。

「タテ組み」

4 ページ 「ロータリー活動とユネスコ活動」: ユネスコ理事長・野口昇氏
ロータリーとユネスコが、深いつながりをもっていることを、例証を挙げて説明されています。そしてユネスコの幅広い活動を述べ、とくに異なる文明・文化の共存を訴えています。

2 . 第 2 6 4 0 地区メンバーの提供記事

「ヨコ組み」

3 ページ 和歌山南 R C 「めざせ金メダル」
和歌山南 R C は、4 ヶ月連続ロータリー・アット・ワークに記事を投稿し、連載されました。多分「日本新記録」でしょう。心より感服致します。「負けたとてそのくやしさが明日の糧」: 井出胡蝶氏作・川柳ずばりの小学生柔道試合支援投稿記事です。

「タテ組み」

1 9 ページ 岸和田東 R C : 中井義尚 氏 「新入会員を迎えるにあたって」
色々ロータリー活動に活躍されている中井氏が、今回会員減少の中いかにロータリーを理解して貰うか意見を述べられました。

2 3 ページ 堺南 R C 大住 杏仁 氏 「俳壇」
堺南 R C 山口 恵子 氏 「 〃 」
大阪金剛 R C 井出 胡蝶 氏 「柳壇」
堺東 R C 竹山 雅泉 氏 「 〃 」

記録に抜けがなければ、山口氏は10月・1月に続く入選であり、井出氏は9月・12月にも入選、竹山氏は1月に歌壇で入選されまし

以 上